



よねざわ

市議会だより Vol.142  
平成28年8月1日 発行

写真提供：『米沢郷土料理レシピ集 おわえなえ』（米沢商工会議所女性会 編集発行）  
表紙協力：米沢生物愛好会会長 石栗正人氏

連載

# 『かてもの』其ノ伍

「かてもの」とは、比較的よい収穫を上げられる作物や山野に自生する植物で、

飢餓に対する上杉鷹山公の知恵から生まれた「備え」でした。

「うこぎの切り合せ」は、米沢市民にとって当たり前のご馳走。垣根の新芽を摘み取り、味噌とうこぎを包丁で叩き切り合えます。風味豊かな「米沢のごちそう」をご飯にのせると、

「おかわりー」の声が聞こえてくる、私たち米沢人にとって郷土愛を感じる逸品です。

## うこぎの切り合せ



## 議案7件を 原案のとおり可決



▲定例会の閉会前に行われる市長あいさつの様子

平成28年6月定例会は、13日から30日までの18日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、全国市議会議長会から、議員在職25年以上として表彰を受けた議員1名の表彰状の伝達が行われました。その後、報告案件9件を了承し、承認案件1件を承認、人権擁護委員候補者の推薦、米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任にそれぞれ同意した後、議案7件、請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

15日、16日、17日には、12名の議員による一般質問が行われ、21日には総務文教常任委員会、23日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願の審査を行うとともに、市道路線の認定についての現地調査を行いました。

24日には、予算特別委員会を開き、補正予算1件について審査を行いました。

27日には、市立病院建替特別委員会を開き、当局から市立病院建替関連項目等について報告を受けました。

最終日の30日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案7件を全て原案のとおり可決、請願1件については採択、意見書の提出に係る発議1件が可決されました。最後に、議員派遣について可決し、6月定例会を閉会しました。

## 常任委員会

6月21日・23日に開かれた常任委員会から

質疑の主なものをお知らせします。

### 総務文教

▼市有財産（新道の駅整備関連用地）の取得について

本案は、新道の駅整備関連用地として、1万2563平方メートル余を、米沢市土地開発公社理事長 井戸將悟から1億545万8442円で取得するものです。

〔委員〕 土地の取得単価は、

〔管財主幹〕 平米当たり8394円です。

▼住宅無償提供の継続を求める意見書提出方請願

本請願は、東日本大震災に伴う福島原発事故で避難している自主避難者に対して、平成29年3月をもって住宅支援が打ち切られることから、その継続を求める意見書を、国及び福島県に対し、提出することを求めるものです。

〔委員〕 帰還困難区域を除く区域について、来年3月までには、避難解除の方向で進めている国の努力や、福島で避難せずに頑張っている方もい

るがその点はどのように考えているか。

〔参考人〕 避難しなかった方の中には、仕事や家庭の事情などで、どうしても離れることができなかった人も大勢います。そうした人の中には、やはり子供の健康面に関して、将来への影響がないか不安があり、複雑な思いで生活を続けています。また子供を連れて避難し、二重生活をしている家庭では、ギリギリの生活をしており、住宅支援が打ち切られると生活が成り立たなくなってしまう。今回の件については、そうした避難者の意見を十分に聞いたものではないと考えています。

〔委員〕 自主避難の方が戻ろうと判断するのはどういう状況になった時であるか。

〔参考人〕 原発災害は初めてのことであり、どういう状況になれば戻ろうと判断するのかわかりません。戻るとの判断は避難者自身で踏ん切りがついた時だとは思

### 産業建設

▼米沢市新道の駅造成工事請負契約の締結について

重点道の駅に選定された（仮称）道の駅よねざわを整備するために必要となる当該用地の造成工事を行おうとするものです。造成面積約2万1677平方メートルで、用地の造成及び用地内水路の整備を行うとするものです。

〔委員〕 国に対してだけではなく福島県に対しても意見書の提出を求めたのはなぜか。

〔参考人〕 災害救助法に基づくならば、その実施主体は都道府県であり、直接責任を持つているのは福島県です。米沢市議会からも意見書を出していたことで、福島県がその法に基づいて、避難者や国に対して、対応していただけののではないかと考えたからです。

〔土木課長〕 元の田の面から平均で約70センチメートル上げる設計です。

〔委員〕 新道の駅造成地の埋蔵文化財発掘調査の進捗状況は。

〔土木課長〕 発掘調査は、山形県埋蔵文化財センターに委託して調査を実施しています。発掘箇所は地下水の浸出があつて、その排水をしながら進めており、予定より若干遅れています。

〔委員〕 工事の大まかな工程は。

〔土木課長〕 全体を4ブロックに分けて、発掘調査が完了したところから順次造成を進めます。12月までにはおおよそ完了させる予定ですが、降雪の影響も考えて、工期を3月末までとしています。

〔委員〕 施設の設計、運営会社の経営計画の内容やスケジュールなどは。

〔商工課長〕 今後、運営会社の経営計画等について議会に説明し、意見交換の機会を設けたいと考えています。

〔委員〕 道の駅での旅行業の展開については。

〔観光課長〕 旅行業法における第3種旅行業者登録をして、着地型旅行商品を取り扱い、同じく第3種登録をしている長井市や第2種登録をしてい

る山形県観光物産協会との連携を計画しています。

▼市道路線の認定について  
新道の駅整備事業に伴い1路線を、一般申請に伴い2路線をそれぞれ新規認定しようとするものです。

〔委員〕 一部路線を有効幅員4メートルで認定する理由は。〔土木課長〕 現在の市道認定基準の制定が昭和54年の4月であり、それ以降の認定基準は幅員6メートルとなっています。また、それ以前の道路は、幅員4メートルでも基準を満たすこととしており、今回もその考えで認定しようとするものです。



▶（仮称）道の駅よねざわの内観イメージ図



一新会  
やまむら  
山村

あきら  
明  
議員

本市のまちづくりについて

市長は自ら任期を2期8年とし、この短い期間において、また、就任後6か月が経過した中で、何か新たなまちづくりの構想があれば伺いたい。

選挙公約をどのように進めていくか、ということでもあると思います。人口が減少する中で、周辺部において、いかに整合性のとれたまちづくりを進めていくかが大きな課題であると考えております。目指す方向性は、民間の機能、本市の持っている機能を連携させながら全体のまちづくりを進めていくことだと考えて

本市と連携する精神科病院の建設場所について

民間病院にお願いする精神科病院の建設場所について、利用者にとって八幡原周辺は市街地から遠過ぎるのではないか。八幡原より1km程市街地に近い米沢オフィス・アルカディアに誘致してはどうか。

沢駅前クリニックから近く、来年度当初に開院できる土地との希望があり、この条件を満たす候補地は、八幡原工業団地内の万世小隣接地の市有地しかありませんでした。しかし、万世コミュニティセンターで開催した住民説明会では交通安全確保の要望があり、このことを受け公徳会において、用地を狭くしてでも交通安全の確保を図るべきとの判断に至り、公徳会から万世コミュニティセンター西隣の土地に変更したいとの申し出がありました。当初2万㎡であった用地面積の条件が



▲最終的にはオフィス・アルカディアへ建設

下がり、建設場所の決定には調整を要しますので、お時間をいただきたいと思います。



一新会  
あいた  
相田

みつてる  
光照  
議員

〔仮称〕「米沢市教育支援センター」の設立に向けて

「スクール・ガイダンスプロジェクト」の役割はどのようなものか。

この事業は平成14年10月、高橋幸翁市長時代に開始され、安部三郎市長が踏襲し、現在、中川市長にそのバトンが渡っている。15年目を迎え、市長はこの事業の必要性をどのように捉えているか。

初は3年をめどに開始し、一旦は不登校児童・生徒の減少が得られたものの再び増加の傾向が見られました。また、学習障がい等教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への対応が求められ、本事業を継続してきました。これまでの経過から、本事業と適応指導教室については継続していかねばならないと思っております。

本事業が、本市の子供達に必要不可欠であり、救うべき子供や保護者の光に必ずなると考えるが、抜本的改革が行われないまま進んできてい



そこで、このプロジェクトの中枢をなすガイダンス教室を「米沢市教育支援センター」と改名し、条例化して設立すべきと考えるがどうか。

〔教育指導部長〕プロジェクトVから補助員を大幅に増員し、一括して本事業のスタッフとして継続雇用しています。専門性が高まることで、児童生徒や家庭、学校との連携が深まり、継続して設置する意義は大きいと思われま



日本共産党市議員団  
たかはし  
高橋

ひやし  
壽  
議員

総合療育訓練センターの機能を有する機関の誘致について

センター設置は、発達障がい児や関係者の長年の願いだが、実現に向けた県への要望活動はどのように進めるのか。

望活動を進めていく考えです。就学援助制度の入学準備金は入学前の支給に改善を

いただきたいと考えています。いきいきデイサービスの定員を増やし待機者解消を元気なお年寄りのための「いきいきデイサービス」だが、今年度は好評で定員超過となった。定員を増やし、待機者をなくすべきでは。

認可外保育所に対する補助金の削減はやめるべき

財政難を理由に補助金が削減され、運営に支障が出た施設もある。当局の考えは。

〔健康福祉部長〕施設により補助額の増減はありましたが、内容を見直し、目的に沿った補助金としたところです。



▲消防ポンプ積載用軽トラックは配備または借上げで支援を

ポンプ積載する軽トラックを配備し消防団の支援を

消防団員個人所有の軽トラックを借りている状況だが、市が配備、または「借上げ車」とすべきではないか。



めいせい  
明誠会  
こじま  
小島

はじめ  
一  
議員

ユニバーサル社会を目指すについて

心のバリアフリーについて本市の取組みと今後の進め方についてどうなっているか。

〔健康福祉部長〕現在の認知症サポーター数は3711名であり、講師役のキャラバンメイトは86名であります。引き続き養成講座をしてい

くことと合わせまして、市職員向けの対応要領の策定、研修会を開催していきます。障がい者差別解消法の施行を受けて観光関連の情報発信はどのようになっているか。

放課後児童クラブについて

新制度になって一年を経過したが、各施設の現状をどう認識しているか。

〔健康福祉部長〕聞きとりをしている状況ですが、人員配



関の設置を提案するがどうか。〔市長〕国や県の方針もありますし、一小学校区に一施設という基本軸の中で、連絡協議会として学童全体の方向性を出してほしいと思います。



明誠会  
島貫 宏幸 議員

地域資源を資産とするために

地域資源をどのように活用し、地域振興や経済活動に結びつけていくのか。

〔産業部長〕 具体的には、飯豊町松原地区の先進事例を参考にしながら、小水力発電による電力の園芸施設等への利用検討を進めたいと考えています。

また、北海道では家畜ふん尿の適正な処理や臭気対策として、畜産バイオマスプラントの建設が増加しています。

畜産振興を図る上でも、資源循環型農業を確立するため、施設設置の可能性を検討していきます。

「米沢に残りたい」「戻って生活をしたい」と思っている方々への具体的な施策を、人

材資源活用の観点で、どのように検討し進めているのか。

〔産業部長〕 労働力人口の確保や定着は、産業部門のみならず地域全体の活力にかかわる課題であり、残りたい、戻りたいという方に、しっかりと米沢に定着してもらえようようにしなければなりません。

このため、山形大学と連携し、有機エレクトロニクスの研究開発と関係企業の誘致に取り組みほか、自動車関連や医療等の成長産業の企業誘致に取り組んでいます。

また、地元企業が事業拡大により成長し、優秀な人材を

自然災害に備える本市の取組みについて

受け入れていただけるよう、新商品開発支援や、新たな販路開拓支援を行いながら、地域産業の振興を図っています。



かかってきました。今できることとして、正しい知識を持ち備えることが被害を減らすことであると思っています。

TPPに負けない農業経営について

50年来続いてきた減反政策が廃止されようとしており、農家は先の見えない農政に非常に困惑している。

TPPに負けない農業経営のため、稲作単一経営農家への支援体制はどのようにしていくのか。



▲稲作単一経営農家への支援を

〔産業部長〕 国の制度である経営所得安定対策を推進するため、関係機関、団体を構成員とする米沢地域農業再生協議会を組織し、各種交付金の円滑な交付や、人・農地プ

策も視野に入れながら、写真や映像を活用した情報発信の方法を、さらに研究させていただきます。



一新会  
鳥海 隆太 議員

米沢市地域防災計画の検証について

災害リスクの想定はどのようになっているか。

〔総務部長〕 防災計画で想定しており、地震が6割を占めています。市内にある長井盆地西縁断層帯について被害想定調査を実施し、最大規模の地震が発生した場合、震度7

の強い揺れと大きな被害が想定されます。

応急活動に必要な資機材や飲料水・食料は、市内17カ所のコミュニティセンターへの設置が完了し、各小中学校へ年次的に設置を進めています。

市役所が災害対策本部として使えるか

公共施設の耐震化率は約



▲庁舎が使用できない場合に本部となるB棟

40%。市役所を本部として使えない場合、市役所北側のB棟で能力を発揮できるか。

〔総務部長〕 木造校舎は除かれますが、小・中学校は耐震化を完了しています。高校、大学、全コミュニティセン

米沢百景の選定について

一し、観光素材として外部に発信できないか。



▲観光の中心である松が岬公園

て機能し得ると判断しています。

B棟は使えらる想定しています。B棟が被害を受けた場合、多目的屋内運動場に本部機能を移す想定をしています。

災害支援システムについて

機材、情報、データ、電算システムが集まって初めて本部が機能する。そのバックアップの対応と対策はどうか。

災害時に必要な水や衛生的な部分の対策について

水源確保と、災害時にも機能するトイレを計画的に整備する必要があります。〔産業部長〕



市民平和クラブ  
太田 克典 議員

公共施設等総合管理計画について

平成26年10月に策定した公共施設白書では、現在の公共施設を全て維持・更新する場合、今後40年間で1400億円が必要と記載されている。本市の公共施設の維持・整備の方向性はどうか。

ごときに、廃止、統合、複合化を視野に入れて進めていく必要があると考えています。重要な課題であり、市民の意見を反映させるために、十分時間をかけるべきだと思います。計画策定への市民参加をどのように図っていくのか。

「介護予防給付」の中の「訪問介護」と「通所介護」を、市町村独自の「地域支援事業」に移行・再編させるものとなっている。新たに市の事業となる「地域支援事業」の内容やサービスはどうか。

「介護予防給付」の中の「訪問介護」と「通所介護」を、市町村独自の「地域支援事業」に移行・再編させるものとなっている。新たに市の事業となる「地域支援事業」の内容やサービスはどうか。



▲適度な運動で介護予防を



日本共産党市議団  
高橋 英夫 議員

「市民が積極的に参加するまちづくり」の具体的手法とは

市民も行政も自由に議論しあえるワークショップを取り入れ、政策立案や事業実施に生かしてはどうか。

一方で、計画決定の権限はなく、各種審議会等との関係も検討する必要があります。どのような市民参画の手法を選択して進めるのが最善かつ有効であるか、見きわめながら進めていきます。

「米沢ブランド戦略事業」の成功の決め手は

空家を活用して移住を促進するには、行政と事業者、NPO法人などの連携が必要と考えるがどうか。

「健康福祉部長」寿山荘存続を望むご意見や、代替施設に

雪対策に関する市民は多い。ワークショップの活用

「米沢市立学校適正規模・適正配置計画の進捗状況について

観光の活性化に関して



▲観光資源は幅が広いので、一体感を打ち出すことが大事。情報を共有する仕組みづくりが必要と思うがどうか。



市民平和クラブ  
我妻 徳雄 議員

徹底した追い払いで猿被害の軽減を

猿被害が拡大、狂暴化している。最近では、人を威嚇する猿も出現している。被害を防止するために、地区、地域、集落が一体となり「被害に強い集落」づくりが必要である。猿が出没したら、住民自らが徹底的な追い払いを実施

し、「里」は怖いところと猿に覚えさせる必要がある。そのために、追い払いのマニュアル作成と、それに基づいた実践練習を指導する必要があるのではないか。

防犯面、観光面からも無料公衆Wi-Fiの拡大を

無料公衆Wi-Fiの拡大を(米沢観光コンベンション協会内への設置例)



▲無料公衆Wi-Fiの拡大を(米沢観光コンベンション協会内への設置例)



公明クラブ  
山田富佐子 議員

老人福祉センター寿山荘の今後について

寿山荘存続の市民要望が強く、市民、高齢者の思いや声をどのように反映させていくのか。また、今後の方向性についてどのように考えているか。

ついでのご意見をいただいております。今後も継続して協議していく予定です。また、利用者等のご理解が得られるよう、より丁寧な説明を引き続き行ってまいります。なお、可能な限り、現在の寿山荘に準じたサービスの提供を行える代替案をお示しし、今年度中に廃止時期について明確にしたいと考えています。

「市長」市民の多くの皆さんからご寄附をいただいて建てられたという思いを大事にしながら今後、寿山荘のあり方や、方向性を出していかなければならないと思っております。また、老朽化や財政的な

米沢市立学校適正規模・適正配置計画の進捗状況について

「教育長」本年度は、内部による本市学校教育のあり方についての検討や、各種優遇措置の情報収集を行い、来年度は外部委員を含めて多方面からさまざまな検討を行います。



▲寿山荘の今後は





▲策定が始まる「公共施設等総合管理計画」

**総務文教常任委員会**

財政状況やふるさと納税に関するご意見が多数寄せられました。学校の統廃合については、方向性を早急に示すよう求める声が多く、またコミセンを含む公共施設の建替えについては、災害時の避難場所としての必要性を強く訴える声が多くありました。人口減少へ先んじて対応した「学校適正規模・適正配置計画」や「公共施設等総合管理計画」の速やかな策定と実施が求められているといえます。

「輝くわがまち創造事業」に関しては、地域の魅力を磨き情報発信する取組みや、地域住民が交流する機会を設けることにより地域力の向上につながった事例が多く報告されました。今後はこれらの活動を育てていくために、市の相談窓口や支援体制を明確にすることが課題と考えます。

当委員会としては、人口減少への

## 第5回 平成28年5月17日から27日まで 「議会報告会・意見交換会」報告

5月17日から27日までの期間、市内17地区のコミュニティセンターで「第5回議会報告会・意見交換会」を開催しました。この度は、全地区合計で177名にご参加いただきました。前回よりも微増しましたが、開催時期が5月に変更となり、「農繁期と重なって厳しい。別日程にしてほしい」という多数のご意見を頂戴しました。今後、アンケートを踏まえて第6回の開催時期、テーマなどを検討してまいります。

議会報告会・意見交換会では、3月定例会に加えて、昨年4月に議長の諮問機関として設置した議員定数・報酬検討委員会における検討内容を報告しました。

また、各コミュニティセンターの協力を得て、各地域より出されたテーマについて意見交換を行いました。

「議会報告会・意見交換会」において、皆様からいただきました貴重なご意見等につきましては、所管の常任委員会等において議論を重ね、方向性を取りまとめました。各常任委員会での検討内容については、左のページをご覧ください。皆様から出されたご意見については後日、各コミュニティセンターに配布させていただきます。

議会報告会に、多くの市民の皆様にご来場いただき、議員一同、心より感謝申し上げます。

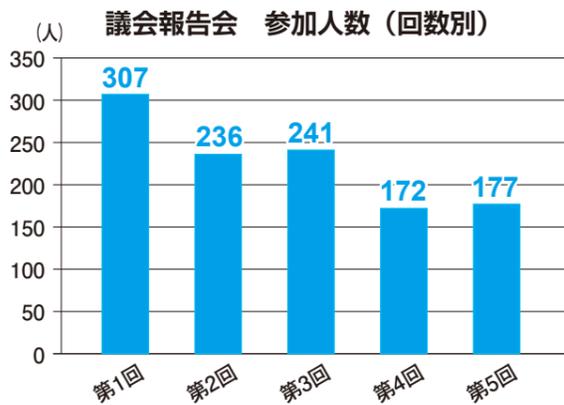
早急な対応を強く求めていくとともに、定住人口増へつながる施策の実現と多彩な市民活動の創出へつながる政策提言を目指してまいります。

### 民生常任委員会

民生常任委員会では、市民の皆様からいただいた要望とご意見は、委員会としてしっかり市当局へお伝えすることにいたしました。また、いただいた意見の中で2つの項目は、今後とも民生常任委員会の中で協議を重ね、政策提言に繋げていきたいと考えております。

1点目は「医療費削減への提言」についてです。埼玉県坂戸市では、女子栄養大学と協働で「認知症や脳梗塞等の予防に効果があるといわれるビタミンB群の一種である葉酸（ようさん）を1日400mg摂取する運動を進めている」とのご意見をいただきました。この事例を参考に、米沢栄養大学と連携して食物・栄養の観点から医療費削減に繋げられるか研究していきたいと思っております。

2点目は「市民意見を反映できる病院建設」についてです。現在、検討している米沢市立病院の建て替えに向けて、ワークショップのような形を取りながら、市民意見を反映できる形態を検討していきたいと思っております。



▲愛宕地区での議会報告会

### 産業建設常任委員会

道の駅に対して、人を呼ぶ目玉となる方策などに関する要望、意見を多くいただきました。人が多く集まるような米沢らしい施設に向けた調査、検討、そして提言を引き続き重ねてまいります。

道路に関して、都市計画道路の早期着工、市道の整備などを求める意見が多数ありました。市民ニーズに沿った整備を関係機関に働きかけてまいります。

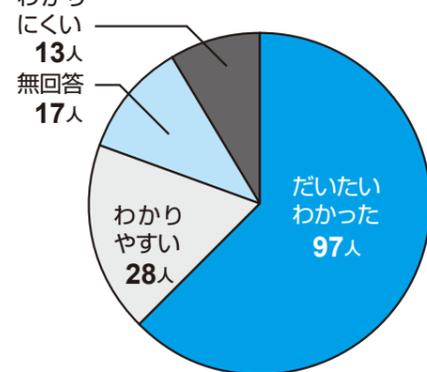
企業誘致に対しても複数意見をいただきました。住理工山形が操業を開始したところですし、東北中央自動車道の、平成29年度中の供用開始予定を目前にして多くの企業から注目を集めているようです。さらなる誘致の促進を提案してまいります。

農林業分野では、有害鳥獣対策、

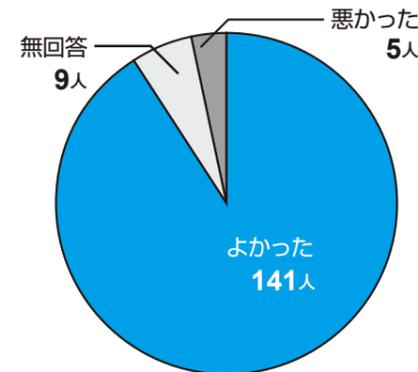


▲操業を開始した住理工山形

### 議会報告会の内容



### 参加して



議会報告会は、議会基本条例に基づき、直近の定例会における議案審査の内容等について報告するとともに、市民の皆様のご意見を政策提言につなげようと、実施しているものです。

### 議員定数・報酬検討委員会

このたびの議会報告会・意見交換会では、議員の定数と報酬についてご報告を申し上げたところ、「議員の数も報酬も多すぎる」、「今のままで良いのではないか」、「責任を持って活動するためにも、むやみやたらに減らす必要はない」など数多くの忌憚のないご意見をいただきました。市民の皆様は、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

当委員会では、いただいたご意見を集約して全議員にフィードバックいたしました。その上で、秋に開催予定の議会報告会・意見交換会で、一定の方向性を皆様にお示ししてまいります。

また、ご意見の中には、「議員の質」の向上ということも多くありました。当委員会としてはこのことを深く受け止め、「議員の質」とはどのようなものかをしっかりと検証し、定数と報酬のあるべき姿に反映してまいります。

# 6月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

## 採 択

◆「住宅無償提供」の継続を求める意見書提出方請願（請願第4号）

（福島原発被災者フォーラム山形・福島  
代表 武田 徹 他2名）

## 意見書

◆東日本大震災自主避難者への「住宅無償提供」の継続を求める意見書の提出について（発議第3号）

（内閣総理大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長、福島県知事あて）

6月定例会最終日に、議員提出の意見書1件を原案どおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

## 市議会9月定例会 日程（予定）のお知らせ

- 9月 2日 開会（本会議）
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 12日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 15日 決算特別委員会
- 16日 総務文教常任委員会
- 20日 民生常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会
- 23日 予算特別委員会
- 26日 市立病院建替特別委員会
- 29日 最終日（本会議）

※請願の提出期限は、8月26日（金）午後5時の予定です。  
日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。  
TEL 22-5111（内線5623・5624）

## スポット

## 西部小学校・愛宕小学校の 3年生が本会議場を見学

6月28日（火）に、西部小3年生107名と愛宕小3年生42名の児童が、市役所と本会議場の見学をしました。

山形県や米沢市についての地域学習のひとつとして、市役所や議会の働きを知り、自分たちの生活との関わりについて学習しました。



▲本会議場の議員席にて  
◀市長室も訪問

## 市議会の本会議中継

本会議は、会議時間に合わせて、NCVのケーブルテレビ022chで生中継を行っております。

また、インターネットのYouTube（ユーチューブ）での録画放送も行っておりますので、どうぞご覧ください。



## あしがき

この夏の参議院選挙は編集作業の真っ最中に行われました。記念すべき18歳選挙権による初めての選挙でした。18歳、19歳の若者たちの投票率は全国平均で45・45%でした。この数字が高いのか低いのかについては評価が分かれますが、考えさせられたのは、この議会だよりの紙面が若者の興味を引くものになっているかという点です。編集委員会では誰にとっても読みやすいものにしたと知恵を絞っていますが、まだまだかもしれません。

『政治を身近なものにしていく責任の一端がこの議会だよりにはある』と実感させられました。若者の気持ちをもっともっと市政に反映させたいと思います。

【編集委員 高橋 英夫】

○議会だより編集委員会○

- 委員会 山田富佐子
- 副委員長 小島 一
- 委員 相田 光昭
- 成澤 和音
- 高橋 英夫
- 太田 克典